

「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年度法律第117号）第8条の規定により、金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業に係る事業者の選定に関する客観的な評価結果をここに公表する。

平成17年5月12日

国立大学法人金沢大学長 林 勇二郎

金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業

事業者選定結果

平成17年5月12日

1. 事業の概要

(1) 事業名

金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業

(2) 事業場所

石川県金沢市宝町1-1 金沢大学宝町団地構内

(3) 事業目的

本事業は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）に基づき、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用し、もって大学の事務及び事業の円滑な運営に資することを目的とする。

(4) 事業期間

事業契約締結の日から平成31年3月31日まで

(5) 事業内容

本事業は、本事業を実施する者として選定されたPFI法第2条第5項に規定する選定事業者（以下「事業者」という。）がPFI法に基づき当該施設を設計、改修・建設した後、事業期間中に係る維持管理及び一部の運營業務を遂行するRO方式

（Rehabilitate, Operate）＋一部BTO方式（Build, Transfer, Operate）＋一部BOT方式（Build, Operate, Transfer）により実施する。当施設は「公の施設」として位置付ける。大学は、施設の設計、改修・建設、維持管理及び運営に係る対価として事業者に係る費用を支払うものである。

主な業務は次のとおりであり、事業者が実施する本事業の主な業務範囲は以下のとおりである。

① 金沢大学（宝町）総合研究棟等の設計及び改修・建設

ア 設計業務

- ・設計及び設計関連業務
- ・工事開始までに必要な関連手続き（各種申請業務等）

イ 改修・建設業務

- ・改修・建設に伴う各種申請等業務

- ・工事監理業務
- ・工事に伴う近隣対策業務
- ・改修・建設工事
- ・備品等の設置工事及びその関連業務
- ・施設運用開始までに必要な関連手続き（各種申請業務等）

② 金沢大学（宝町）総合研究棟等の維持管理業務

- ア 検針業務
- イ 清掃業務（廊下、便所、玄関等の共用部分、講義室等）
- ウ 校舎等警備業務（休日及び夜間、外部巡回、防災監視）
- エ 植栽管理業務
- オ 昇降機設備保守管理業務
- カ 電気設備保守管理業務
- キ 給排水設備保守管理業務
- ク 空調等設備保守管理業務
- ケ 防災設備保守管理業務
- コ 建物（構造・仕上）保守管理業務
- サ 外構保守管理業務

③ 校舎（医学部解剖実習棟）における運営業務

- ア 教育研究の補助業務
 - ・実習、法医学解剖準備、後片づけ業務
- イ 学校事務業務
 - ・献体の収集、管理事務
 - ・献体の搬送、保管、搬出事務
 - ・合同慰霊祭開催案内事務、同設営事務

なお、「金沢大学（宝町）総合研究棟等」とは、本事業の対象となる施設全体の総称である。

2. 事業者の選定

(1) 事業者の選定過程

本事業における落札者決定までの経過は、表1のとおりである。

表1 落札者決定までの経過

日付	内容
平成16年4月23日	実施方針の公表
5月10日～5月14日	実施方針に関する質問の受付期間
5月10日～5月21日	実施方針に関する意見・提案の受付期間
6月15日	実施方針に関する質問への回答公表
8月2日	要求水準書（案）の公表
8月9日～8月17日	要求水準書（案）に対する質問の受付期間
8月9日～8月19日	要求水準書（案）に対する意見・提案の受付期間
9月10日	要求水準書（案）に対する質問への回答公表
9月10日	特定事業の選定
9月27日	入札公告
9月27日～2月10日	入札説明書の交付及び閲覧資料の閲覧等の期間
9月28日～10月8日	入札書類に対する第一回質問の受付期間
10月4日	説明会及び現地見学会
10月22日	入札書類に対する第一回質問への回答公表（その1）
10月5日～平成17年2月4日	現地調査期間
11月1日	入札書類に対する第一回質問への回答公表（その2）
11月2日～11月5日	参加表明書・競争参加資格確認書類の受付期間
11月11日	競争参加資格確認通知
11月29日～12月3日	入札書類に対する第二回質問の受付期間
12月22日	入札書類に対する第二回質問への回答公表
平成17年2月7日～2月14日	入札提出書類受付期間
2月14日	開札
4月4日	落札者の選定及び公表

(2) 審査委員会の設置

平成 16 年 3 月 25 日、本事業における事業者選定のための審査に関して、学識経験者及び金沢大学職員で構成する「金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業（PFI 事業）審査委員会」（以下「審査委員会」という。）を設置した。

審査委員は以下のとおり。

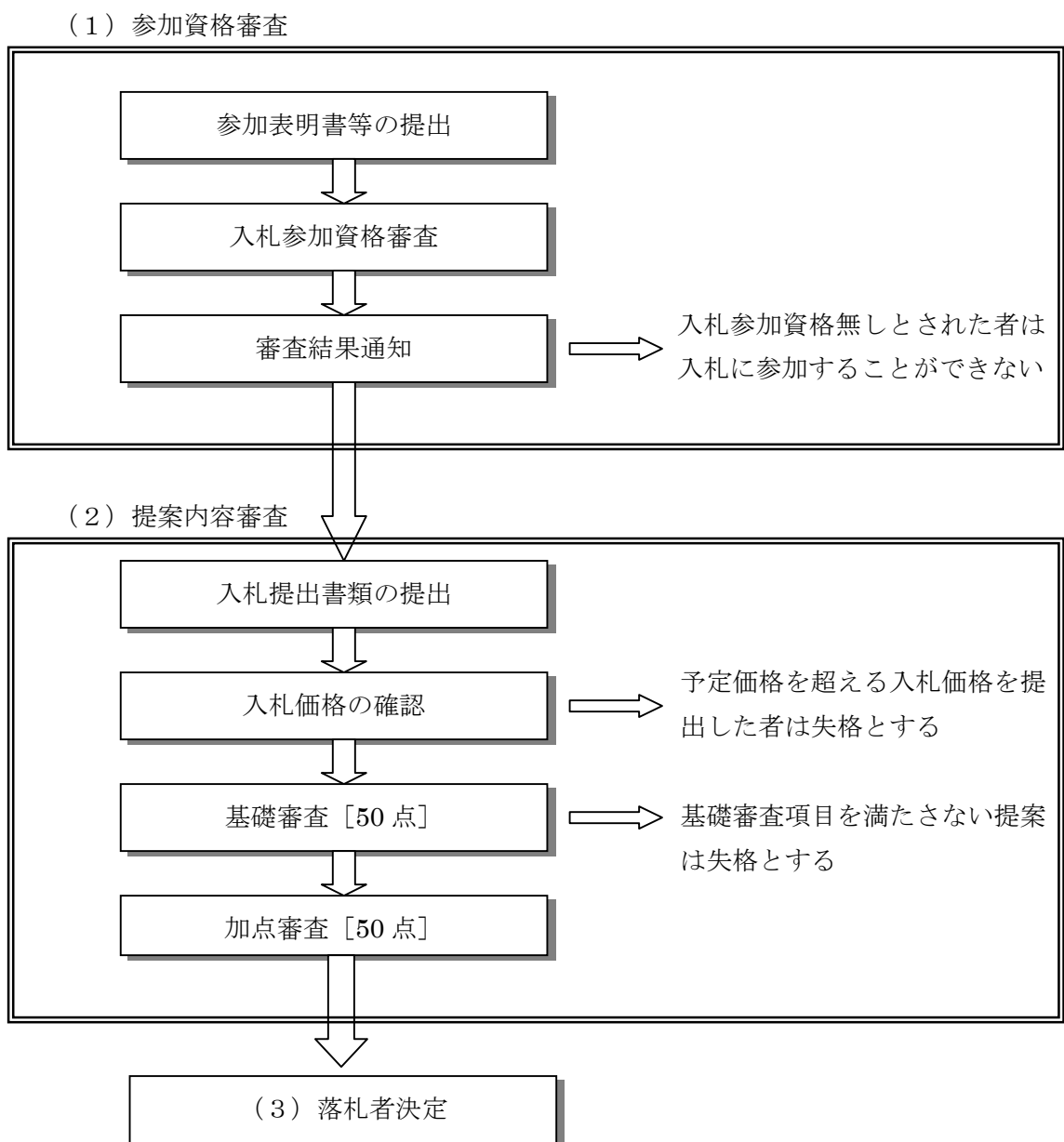
表 2 審査委員会 審査委員

	氏名	所属等
委員長	中村 信一	金沢大学理事（財務担当）
委員	大原 義朗	金沢医科大学微生物学教授
	奥村 正吉	石川県土木部営繕課担当課長
	河村 和徳	金沢大学法学部助教授
	瀧本 昭	金沢大学大学院自然科学研究科教授
	徳永 光晴	金沢工業大学環境土木工学科助教授
	矢島 一義	日本政策投資銀行北陸支店企画調査課長
	吉本 谷博	金沢大学大学院医学系研究科教授

(3) 選定方法

事業者の選定に当たっては、入札価格及び提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用した。選定方法は以下に示すとおり、第一次審査（参加資格審査）と第二次審査（提案内容審査）の二段階に分けて実施した。「提案内容審査」では、「入札価格の確認」及び「基礎審査」「加点審査」を経て、最優秀提案者を決定した。概要については以下に示すとおりである。

図1 落札者決定までの流れ



【第一次審査】参加資格審査

第一次審査の参加資格審査については、次のとおり実施した。

- ① 本事業への競争参加希望者は、入札説明書に掲げる競争参加資格確認を受けるため、参加表明書等を大学へ提出し、競争参加資格について審査を受ける。
- ② 競争参加資格の審査結果は、競争参加資格確認を受けた者に対して通知する。

<参加資格審査の項目>

A 応募者の参加要件等

- ・ 参加表明書等の不備の有無
- ・ 国立大学法人金沢大学会計規則に関する要件
- ・ 会社更生法又は民事再生法に関する要件
- ・ 指名停止等に関する要件
- ・ 利益相反及び重複参加に関する要件

B 応募者の構成員等の資格等要件

- ・ 各業務における有資格等に関する要件
- ・ 各業務における実績に関する要件

【第二次審査】提案内容審査

① 入札価格の確認

入札においては、応募者が入札書に記載した入札価格（事業期間を通じて大学が支払う対価のうち、消費税等を除いた総額）が、大学の設定する予定価格の範囲内であることを確認し、入札価格が予定価格を超える場合は失格とし、次項以降の審査は行わないこととした。

② 基礎審査

審査委員会において、応募者からの提出書の各様式に記載された内容が、次の基礎審査項目を満たしているかどうかを審査し、基礎審査項目を満たしていない場合は失格とした。

基礎審査項目を全て充足した提案については、基礎点として50点を付与することとした。主な基礎審査の内容は、次頁のとおり。

■ 主な基礎審査の内容

1. 提案内容全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。
2. 提案内容全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
3. 提案内容が要求水準書の内容を満たしていること。（主な審査項目を表3に示す。）
4. その他、入札説明書等で規定している提案条件を満たした提案内容となっていること。

表3 主な基礎審査項目

審査対象	基礎審査項目
設計、改修・建設に関する提案書	解剖実習棟の延床面積が 1260 m ² （+2%～-1%）に納まっているか
	耐震補強後の各棟について、I _s 値 0.7、q 値 1.0（CtuSd 値 0.3）の目標を上回っているか
	外構において駐車場が 15 台程度確保できているか
	十全講堂及び講義室の座席を十分に確保しているか
	大学としての機能に支障のない適切な仮設計画が出来ているか
維持管理業務に関する提案書	業務に要する費用は、光熱水費を除き、事業者の負担となっているか
	法令等により資格を必要とする業務の場合、有資格者が選任されているか
	各保守管理業務において、維持管理業務計画書及び年間作業計画書の作成が明記されているか
	検針業務において、要求水準の特記事項を満たす提案となっているか
	校舎等警備業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか
	清掃業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか
	植栽管理業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか
建物（構造・仕上）保守管理業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか	

運營業務に関する提案書	運營業務報告書の作成が明記されているか
	教育研究の補助業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか
	学校事務業務において、要求水準書の特記事項を満たす提案となっているか
	与条件を用いて運営費相当分を算出しているか
事業計画に関する提案書	入札金額の算定に際して、基準金利の設定に用いる根拠値の基準日が平成 17 年 1 月 14 日（金）となっているか
	入札書に記載された金額と入札金額内訳書が整合がとれているか
	金利変動及び物価変動を想定せずに計算しているか
	平成 17 年度を基準として割引率 4 % で現在価値化されているか
	入札金額内訳書の記載内容は、施設整備費相当分内訳書、維持管理費相当分内訳書及び運営費相当分内訳書（いずれも消費税等を除く）における記載内容と整合がとれているか

③ 加点審査

審査委員会において、表4に示す各事項について審査した。各評価項目に対して優れた提案が行われている場合に、表5に示す5段階評価の得点化方法に基づいて加点した。

表4 内容点の評価項目及び評価内容と配点

項目		評価の視点	配点
施設整備に関する事項	耐震補強(強度・耐久性)	施設の耐久性向上に資する効果的な耐震補強計画	4
		利便性を考慮した効果的な耐震補強計画	
	外装計画	ユニバーサルデザインへの対応について優れた提案	3
		医学部キャンパスにおける教育研究施設として、周辺環境との調和や品格、親しみやすさ等の観点から優れたデザイン	
	機能性	各室間の間仕切り変更の容易性(フレキシビリティ)に関して効果的な提案	9
		建築材料及び設備機器のメンテナンス容易性・更新容易性等、保安性に関する具体的提案	
		施設利用者の施設の使い易さの向上に資する効果的な提案	
		主動線や共用部において、利用者の交流、くつろぎの場の創出に関して優れた提案	
		医学系研究科、医学部内の機能連携や病院との教育連携に配慮した計画	
	災害時における対応	災害時における設備等の機能確保に資する効果的な提案	2
		災害時における施設利用者の安全性確保に資する効果的な提案	
	解剖実習棟に関する計画	解剖実習、法医解剖、講義の3つの機能が互いに干渉せずに円滑に利用できる計画	3
		臭気対策等、良好な実習・講義環境を実現する効果的な提案	
将来のIT化に対応した基盤整備に配慮した計画			
施設環境への配慮	事業期間にわたる廃棄物等の発生抑制や処理に関する効果的な提案	3	
	事業期間にわたる省エネルギー・省資源化に資する具体的提案		
	エコマテリアルの使用等、施設利用者によりやすく、環境負荷軽減に配慮した具体的提案		
施工計画	施工期間中における円滑かつ安全な大学運営に配慮した施工計画	4	
	近隣対策等、周辺環境に十分配慮した施工計画		
	その他、複数年度・複数棟にわたる施工を考慮した円滑かつ確実な施工計画		
小 計			28
維持管理に関する事項	保守管理業務	業務実施・連絡体制、実施内容及びその方法の効果的かつ具体的提案	4
		修繕等における迅速な対応についての効果的かつ具体的提案	
	清掃業務	業務実施・連絡体制、実施内容及びその方法の効果的かつ具体的提案	2
	警備業務	業務実施・連絡体制、実施内容及びその方法の効果的かつ具体的提案	2
小 計			8
運営に関する事項	教育研究の補助業務	解剖実習及び法医解剖の補助業務の円滑かつ確実な履行が認められる具体的提案	3
	学校事務業務	献体の搬送・搬出及び合同慰霊祭等の事務業務の円滑かつ確実な履行が認められる具体的提案	3
		個人情報管理への対応についての効果的かつ具体的提案	
小 計			6
事業計画に関する事項	リスクへの対応	リスクの管理方法や発生時の対処方法等の具体的提案	2
	資金調達の確実性・安定性	事業者の資金調達に関する確実性と事業期間にわたる安定性の確保に関する計画内容	2
	事業全体のマネジメント	事業全体の円滑かつ確実なマネジメントの方針及び具体的方策	2
	その他	事業全体に対してその他特に評価すべき事項	2
	小 計		
合 計			50

表5 得点化方法（5段階評価）

評価	評価の意味合い	得点化方法
A	当該評価項目について特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度の評価	配点×0.75
C	当該評価項目について優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度の評価	配点×0.25
E	当該評価項目について優れているとは認められない	配点×0.0

(4) 事業者選定結果

① 第一次審査

平成 16 年 11 月 2 日～11 月 5 日に参加表明書等の受付を行ったところ、表 6 のとおり 1 者からの応募があった。

競争参加希望者から提出された参加表明書等について競争参加資格の確認審査を行った結果、入札説明書に示した競争参加資格の要件を満たしていたことから、平成 16 年 11 月 11 日に競争参加希望者に対して競争参加資格の確認を通知した。

表 6 参加表明書等提出者

No.	競争参加希望者	代表企業	構成員	協力会社
1	清水建設(株)グループ	清水建設(株)	(株)浅沼組 三機工業(株) 北陸電気工事(株) (株)柿本商会	(株)佐藤総合計画 (株)教育施設研究所 (株)ビー・エム北陸 (株)セーフティ オークス事業(株)

② 第二次審査

(a) 入札価格の確認

平成 17 年 2 月 7 日～2 月 14 日に入札提出書類の受付を行い、2 月 14 日、入札書を開札して入札価格を確認した。その結果、入札価格が予定価格の範囲内であった 1 者の入札提案書について審査委員会において審査を行うこととした。

No.	入札参加者名	入札価格確認結果
1	清水建設(株)グループ	予定価格の範囲内

(b) 基礎審査及び加点審査

審査委員会において審査を行い、最優秀提案者が選定された。

③ 落札者の決定

大学は、審査委員会による最優秀提案者の選定結果の報告を受け、以下の者を落札者として決定した。

落札者名：清水建設(株)を代表企業とするグループ

落札金額：6,582,170,588 円 (注) 消費税及び地方消費税相当額を含む。

VFM：15.0%

(国税収入の加味及び現在価値への換算等の調整を行い、従来方式での支出と比較して算出した。)

金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業

審 査 講 評

金沢大学（宝町）総合研究棟改修施設整備等事業

（P F I 事業）審査委員会

1. 審査結果

(1) 第一次審査（参加資格審査）

第一次審査における競争参加資格審査については、参加表明書等を提出した1者が競争参加資格があるものと確認された。

(2) 第二次審査（提案内容審査）

① 基礎審査【基礎点50点】

審査委員会において、入札価格が予定価格の範囲内である入札参加者の提案内容が要求水準の基礎審査項目を満たしているか否かを審査した。その結果、提案内容が要求水準の基礎審査項目を全て満たしていることが確認できたため、基礎点として50点を付与した。

② 加点審査【加点50点】

審査委員会において、各評価項目について審査し、それぞれに対して優れた提案が行われている場合に、加点を行った。

表7 加点審査 審査結果

項目		配点	清水建設㈱グループ	
施設整備に関する事項	設計 計画	耐震補強（強度・耐久性）	4	3.00
		外装計画	3	1.50
		機能性	9	4.50
		災害時における対応	2	0.50
		解剖実習棟に関する計画	3	1.50
		施設環境への配慮	3	0.75
	施工計画	4	2.00	
小 計		28	13.75	
維持管理に関する事項	保守管理業務		4	1.00
	清掃業務		2	1.00
	警備業務		2	0.50
	小 計		8	2.50
運営に関する事項	教育研究の補助業務		3	2.25
	学校事務業務		3	2.25
	小 計		6	4.50
事業計画に関する事項	リスクへの対応		2	1.00
	資金調達の実確性・安定性		2	1.50
	事業全体のマネジメント		2	0.50
	その他		2	0.50
	小 計		8	3.50
合 計		50	24.25	

(3) 総合評価

基礎審査項目で付与した基礎点と加点審査項目で付与した加点との合計点を入札価格で除した値（以下「総合評価値」という）を基に、清水建設(株)グループを最優秀提案者として選定した。

表8 審査結果一覧表

	清水建設(株)グループ
基礎点	50.00
加点	24.25
得点合計 [A]	74.25
入札価格 [B]	6,292,551,506 (円)
総合評価数値 [(A/B) × 10 ⁹]	11.79
順位	1

2. 審査講評

本事業は、金沢大学（宝町）総合研究棟等を設計、改修・建設し、維持管理及び運営業務を行うものである。

第二次審査には第一次審査を通過した清水建設㈱グループから提案が得られた。審査委員会では入札金額が予定価格の範囲内であったことを確認した上で、提案について審査を行うこととなったが、大学の提示した要求水準を上回る、優れた内容の提案であった。

本入札に参加していただいた入札参加者の皆様方には心より感謝申し上げます。

以下は、加点審査項目における入札参加者の評価である。

(1) 施設整備に関する事項

【耐震補強（強度・耐久性）】

アウトフレームによる耐震補強計画により、外壁サッシ面に耐震要素が存在しなくなることから空間利用の自由度が増し、さらには間仕切り壁の変更にも柔軟な対応を可能とする提案が見られた。その他、開口を有するRC補強壁を採用することにより、将来の間取りに対して柔軟な対応を可能とし、また、メカニカルフレーム及びグリッドフレームを採用することで、設備の更新を容易にし、かつ外観の意匠に耐震要素を効果的に取り込んだ提案がなされており、AとCの中間程度と評価した。

【外装計画】

ユニバーサルデザインの4原則を基本に多様な提案が見られた。具体的には、近似する形態モチーフの採用や開放性のある門型エントランスの提案がなされており、医学部キャンパス全体の統一感と周辺環境との調和が図られていた。また、ユニファサードのグリッドフレームは耐震補強の要素を巧みに違和感なく外装に取り込んでおり、歴史、記憶を継承した改修計画の提案となされており、優れた提案であると評価した。

【機能性】

将来における間仕切りの変更可能性や拡張性に配慮した多くの有効な提案や、建築のスパンに合わせた設備機器のモジュール配置によりスパン単位の間仕切り変更への柔軟な対応を可能とする提案が見られた。また、屋外での更新作業を可能とするオープンエアシャフトは更新の容易性の観点から効果的な提案であり、さらに、ヒストリーパークを歴史の継承というテーマでまとめる等により利用者の交流が期待できる提案であった。その他、キャンパスプロムナードに透明感のある大学情報の発信拠点と交流の拠点として「WEBモール」が計画され、情報ラウンジ等が点在する内容となっており、優れた提案であると評価した。

【災害時における対応】

廊下から実験室方向への空気の流れをつくることにより、放射性物質及び病原菌等の危険物の拡散防止を図るといった効果的な提案が見られた。また、附属病院との防災、警報の管理連動といった提案がなされており、CとEの中間程度と評価した。

【解剖実習棟に関する計画】

臭気対策として排気末端に防臭処理設備を設置し、消臭機能を持つ仕上材料の選択といった、良好な実習・講義環境を実現するために有効な提案が見られた。また、将来のIT化への対応といった視点から、解剖実習棟独自のサーバースペースを設ける提案がなされており、こちらも有効な提案と認められ、優れた提案であると評価した。

【施設環境への配慮】

ランニングコストの低減の観点から、幾つかのランニングコスト低減策が積極的に提示されていた。また、環境への負荷軽減を考慮し、エネルギーの選択においては、CO₂の削減及び空調エネルギー低減の観点から検討する旨の提案がなされていた。その他、施工段階での廃棄物抑制のための対策に関して多様な項目が挙げられており、CとEの中間程度と評価した。

【施工計画】

工事中の騒音、振動を低減するために建物近接部に防音シートを設置するほか、工具の選定、作業量の調整及び適切な工事車両動線の計画に配慮するといった、安全かつ円滑な大学運営に配慮した提案が見られた。また、工事ヤードと外部との明確な区画や搬出入口への誘導員の配置、搬入ゲートの限定等といった、近隣住民への配慮がなされた提案が見られ、優れた提案であると評価した。

(2) 維持管理に関する事項

【保守管理業務】

各保守管理業務において維持管理・運営マネージャー、24時間建物管理センター及び警備会社等による非常時連絡体制が、体系的に示されており、定例的な連絡会としての「業務責任者連絡会」の設置の提案が見られた。その他、空調設備に関してインバーター制御及び外気導入制御による省エネルギー化を図り、また、第三者の安全を考慮した、計画的な植栽管理業務の実施等の具体的な提案がなされており、CとEの中間程度と評価した。

【清掃業務】

清掃業務の責任者を軸に、業務実施体制の明確化が図られており、また、自主モニタリングの実施とその結果の業務へのフィードバックを実施する旨の提案が見られた。その他、日常清掃におけるドライ管理の実施等、技術的な側面からの具体的な提案や、事故防止対策として歩行者の誘導の実施や業務責任者の明記等が提案されており、優れた提案であると評価した。

【警備業務】

巡回時における火災発見時への対応として、誘導、初期消火及び通報を実施する他、火災警報及び排水ポンプ故障警報作動時における連絡体制等が明示されていた。また、不審者、不審物の発見時には指令書に沿った適切な対応、通報を実施する旨の提案がなされており、CとEの中間程度と評価した。

（3） 運営に関する事項

【教育研究の補助業務】

実績のある運営会社が業務にあたり、その中で各業務責任者を置いた上での関係者協議会や業務責任者連絡会の実施や業務マニュアルの作成やノウハウの共有化、感染症知識の社内教育を実施する旨の提案が見られた。また、複数のインジケーターを用いての確実な滅菌業務の実施や、危険予防対策のマニュアル化及びメーカーによる説明受講等の効果的な提案が複数なされており、AとCの中間程度と評価した。

【学校事務業務】

数多くの1級葬祭ディレクターを有する、実績のある運営会社が業務にあたり、学校事務業務に関連する複数の業務を1企業において全てカバーするといった提案が見られた。また、特に個人情報の漏洩防止に関して、近隣の大学での同業務の経験者による具体的指導の実施や業務責任者及び担当者を明確化した上で、守秘義務が明記された誓約書を提出する等、徹底した管理体制が提案されており、AとCの中間程度と評価した。

（4） 事業計画に関する事項

【リスクへの対応】

各種リスクごとに管理主体及び管理方法が、提案の中で具体的に明記されていた。また、各業務担当企業において業務の遂行が不可能となった場合、当該企業が代替委託企業を1ヶ月以内に選定するという提案が見られた他、特に付保する保険に関して、要求水準で規定する以上の保険金額条件や、建設工事保険における地震危険担保特約の付保等がなされ

ており、優れた提案であると評価した。

【資金調達の確実性・安定性】

資金調達はプロジェクトファイナンスによって実施される旨が明記されており、関心表明書の添付も確認された。また、SPCの資金収支について融資金融機関への元利償還後で相応の余裕を持たせるべく劣後ローンを導入するほか、SPCの予期せぬ資金不足を回避するため株主による資金支援を計画するという点で、事業の安定性に資する提案が見られた。その他、EIRR等の財務指標も一定水準以上を確保し、融資金融機関や株主、維持管理・運営マネージャー等のあらゆる立場からのモニタリングを実施することも明記されており、AとCの中間程度と評価した。

【事業全体のマネジメント】

大学との業務連携の重要性を認識した上で、連携に係る窓口の一元化やシンプルな職員構成によるSPCを設立し、施設整備と維持管理の各段階ごとに経験豊富な常駐マネージャーをSPCに配置してタイムリーに要求に応えるといった具体的な提案が見られた。その他、大学担当部署や学生、来校者等からの情報を積極的に把握する旨の提案がなされており、CとEの中間程度と評価した。

【その他】

コンソーシアム全体会議による綿密な事前検討として、コンソーシアム入札前協定書等の締結が明示されており、コンソーシアムとしての体制が確立されていることの一つの裏付けであり、事業の確実性担保に寄与する提案であるとしてCとEの中間程度と評価した。

(5) 総評

以上の評価の結果、基礎審査項目による基礎点及び加算審査項目による加算との合計した評価得点は、74.25点、同点数を入札金額で除した総合評価値は11.79となり、最優秀提案者として選定された。

なお、今回は1者のみの入札ということから、基礎審査を通過した時点で実質的には最優秀提案者ということになる。そのような状況下において応募者の提案内容を各視点から評価した中で、審査委員会において、特に以下の点について応募者による更なる努力を強く期待することで、本事業をより良いものとしていくべきであるという意見が示された。

1. 解剖実習棟において、特に臭気対策、それに伴う騒音対策や講義室、解剖実習室、法医学解剖室以下各室の利用の容易性等に関してより効果的な内容となるよう、大学及び施設利用者と十分な協議を行った上で、詳細な施設計画を検討していただきたい。
2. 十全講堂において、施設利用者による安全かつ快適な利用を可能とすることを十分に考慮した上で、詳細な改修計画を検討していただきたい。
3. 施設利用者によるクレーム等への対応に関して、その窓口を明確化した上で、円滑かつ確実に行っていただきたい。

以 上